

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成24年4月12日 (2012.4.12)

【公開番号】特開2010-201861(P2010-201861A)

【公開日】平成22年9月16日 (2010.9.16)

【年通号数】公開・登録公報2010-037

【出願番号】特願2009-51982(P2009-51982)

【国際特許分類】

B 4 1 J 29/38 (2006.01)

H 0 4 N 1/00 (2006.01)

B 4 1 J 29/00 (2006.01)

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

【F I】

B 4 1 J 29/38 Z

H 0 4 N 1/00 1 0 7 A

B 4 1 J 29/00 E

G 0 6 F 3/12 K

【手続補正書】

【提出日】平成24年2月29日 (2012.2.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 0】

そこで、本発明は、関連付け処理を行うホスト装置を制限することで、画像処理装置の使用が許可されていないホスト装置からの不正な接続を防止する仕組みを提供することを目的とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 1】

上記目的を達成するために、本発明の画像処理装置は、ホスト装置との間で無線通信を行って、該ホスト装置からデータを受信することが可能な画像処理装置であって、前記無線通信を行うために、前記ホスト装置と前記画像処理装置を関連付けるための関連付け処理を行う処理手段と、前記処理手段による前記関連付け処理の実行が許可されているホスト装置を示す許可ホストIDを記憶する記憶手段と、前記処理手段が前記関連付け処理を行う際に、前記ホスト装置から送信されたホストIDと前記記憶手段に記憶されている許可ホストIDとを比較し、該比較の結果に基づいて、前記処理手段による前記関連付け処理を実行するか否かを判断する制御手段と、を備えることを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 2 2】

本発明によれば、関連付け処理を行うホスト装置を制限することで、画像処理装置の使用が許可されていないホスト装置からの不正な接続を防止することができる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ホスト装置との間で無線通信を行って、該ホスト装置からデータを受信することが可能な画像処理装置であって、

前記無線通信を行うために、前記ホスト装置と前記画像処理装置を関連付けるための関連付け処理を行う処理手段と、

前記処理手段による前記関連付け処理の実行が許可されているホスト装置を示す許可ホスト ID を記憶する記憶手段と、

前記処理手段が前記関連付け処理を行う際に、前記ホスト装置から送信されたホスト ID と前記記憶手段に記憶されている許可ホスト ID とを比較し、該比較の結果に基づいて、前記処理手段による前記関連付け処理を実行するか否かを判断する制御手段と、

を備えることを特徴とする画像処理装置。

【請求項 2】

前記記憶手段は、管理者となるユーザが使用するホスト装置を示す管理者ホスト ID を更に記憶し、

前記制御手段は、前記ホスト装置から送信されたホスト ID と同じホスト ID が管理者ホスト ID として前記記憶手段に記憶されている場合に、該ホスト装置に対して、前記記憶手段に記憶されている許可ホスト ID の編集を許可することを特徴とする請求項 1 に記載の画像処理装置。

【請求項 3】

前記制御手段は、前記許可ホスト ID の編集を許可したホスト装置が前記許可ホスト ID を削除する場合に、該ホスト装置の表示装置に確認画面を表示させる、ことを特徴とする請求項 2 に記載の画像処理装置。

【請求項 4】

前記記憶手段は、前記処理手段が前記関連付け処理を実行することにより得られた CC (コネクションコンテキスト) を更に記憶し、

前記制御手段は、前記許可ホスト ID の編集を許可したホスト装置が前記許可ホスト ID を削除する場合に、当該削除される許可ホスト ID と同じホスト ID を含む CC が前記記憶手段に記憶されているか否かを判断し、前記削除される許可ホスト ID と同じホスト ID を含む CC が前記記憶手段に記憶されている場合は、当該 CC を前記記憶手段から削除する、ことを特徴とする請求項 2 または 3 に記載の画像処理装置。

【請求項 5】

前記制御手段は、前記記憶手段に管理者ホスト ID が記憶されていない状態で前記処理手段による前記関連付け処理が実行された場合、該関連付け処理を行ったホスト装置のホスト ID を管理者ホスト ID として前記記憶手段に記憶させることを特徴とする請求項 2 から 4 のいずれか 1 項に記載の画像処理装置。

【請求項 6】

前記記憶手段に記憶されている許可ホスト ID のそれぞれについて、前記処理手段による前記関連付け処理が済んでいるか否かを管理する管理手段を更に備え、

前記制御手段は、前記許可ホスト ID の編集を許可したホスト装置が、前記処理手段による前記関連付け処理が済んでいる許可ホスト ID を削除する場合に、該ホスト装置の表示装置に確認画面を表示させる、ことを特徴とする請求項 3 に記載の画像処理装置。

【請求項 7】

前記無線通信とは、ワイヤレスＵＳＢ通信であり、前記関連付け処理とは、ワイヤレスＵＳＢ通信に関するアソシエーション処理であることを特徴とする請求項１から６のいずれか１項に記載の画像処理装置。

【請求項８】

前記無線通信を行って前記ホスト装置から印刷データを受信し、当該受信した印刷データに基づく印刷処理を実行する印刷手段を更に備えることを特徴とする請求項１から７のいずれか１項に記載の画像処理装置。

【請求項９】

ホスト装置との間で無線通信を行って、該ホスト装置からデータを受信することが可能な画像処理装置の制御方法であって、

前記無線通信を行うために、前記ホスト装置と前記画像処理装置を関連付けるための関連付け処理を行う処理工程と、

前記処理工程での前記関連付け処理の実行が許可されているホスト装置を示す許可ホストＩＤを記憶媒体に記憶する記憶工程と、

前記処理工程で前記関連付け処理を行う際に、前記ホスト装置から送信されたホストＩＤと前記記憶手段に記憶されている許可ホストＩＤとを比較し、該比較の結果に基づいて、前記処理工程での前記関連付け処理を実行するか否かを判断する制御工程と、

を備えることを特徴とする画像処理装置の制御方法。

【請求項１０】

請求項９に記載の画像処理装置の制御方法をコンピュータに実行させるためのプログラム。